資料配布の場所・日時
1．筑波研究学園都市記者会（資料配付）
2．国土交通記者会（資料配布）
3．国土交通省建設専門紙記者会（資料配布）
日時：令和8年11月9日 14時同時配付

令和8年11月9日
国立研究開発法人土木研究所

災害は国境を越える。だから、備えも国境を越えて

－ASEAN 9 か国の専門家が日本に集結し、「洪水から命を守る力」を磨いています－

激しさを増す豪雨と洪水。気候変動の影響で、いまや世界のどこで起きても不思議ではない脅威となっています。

ICHARM(水災害・リスクマネジメント国際センター)では、ASEAN 加盟 9 か国※から、気象機関、河川・水資源管理機関、防災機関の専門家を 1 名ずつお招きし、新たな研修を実施中です。豪雨を予測し、洪水を早期に警告し、リスクを見極める。この一連の流れを、機関の垣根を越えて連携して担える人材を育てることが狙いです。

注目は、最終日の成果発表会です。参加者は、自国の洪水予測能力をどう高めるか、人命を守る早期警報をどう実現するか、研修で得た学びを具体的な行動計画として発表します。

気候変動時代の防災を担うASEAN各国の「いま」と「これから」。ぜひ現場でご取材ください。

※ASEAN 加盟全 11 か国のうちシンガポールとミャンマーを除く 9 か国

土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM:アイチャーム）では、世界気象機関(WMO)からの要請を受け、ASEAN 加盟国における気候変動に対応した洪水リスクの軽減を図るため、11 月 2 日（火）から 11 月 13 日（金）まで ASEAN 各国の気象機関、河川・水資源管理機関、防災機関の職員を対象に、洪水予測能力の強化に関する研修を行っています。

研修内容には、極端豪雨に対する気候変動影響評価、水文モデルおよび洪水リスクマップの作成、リスクコミュニケーション、ならびに多様な関係者間の連携強化が含まれており、様々な機関の職員を同時に対象とすることで、分野横断的な協力体制の強化を目指してます。

来る令和 8 年 11 月 13 日（金）13 時 30 分より、各国の研修参加者による研修成果の発表会を開催しますのでお知らせいたします。

【日 時】令和 8 年 11 月 13 日（金）13 時 30 分 ～ 15 時 20 分
【会 場】土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター（茨城県つくば市南原 1－6）
【言 語】英語

取材をご希望の場合は、下記問い合わせ先まで 11 月 12 日（木）17 時までにご連絡ください。

（問い合わせ先）
国立研究開発法人 土木研究所
水災害・リスクマネジメント国際センター
特別研究監 古本 一司
電話番号 029-879-6809 E-mail furumoto-k573cp@pwri.go.jp